

## 調査書記入上の注意

1. 同一の業績に対し複数（3名以内）の候補者がある場合は、創意工夫功労者賞候補者調査書（様式2）の1～4の項目については全ての候補者分作成し、5の項目については共通資料として1業績分作成すること。
2. 同一事業所から複数の業績について候補がある場合、推薦順位を必ず記載すること。
3. 「業績名」欄に記載する業績名については、創意工夫の特徴をとらえた簡潔な表現とし、語尾は「考案」、「改良」、「改善」の3種から選択することとし、文字数は語尾を含めて合計23文字以内とすること。  
なお、原則として業績名には商標、商品名、会社名及び句読点等（（ ） 「 」 ・ 、 。 ）を使用しないこと。  
また、字間は空けず、業績名の読み仮名についても記載すること。
4. 候補者氏名は戸籍簿等に記載の字画のとおり正しく楷書で記載し、ふりがな（ひらがな）を付すこと。  
また、候補者氏名は、戸籍に記載されている旧姓も使用可とする。  
例：渡辺の場合、戸籍簿に“渡邊”とあれば「渡邊」と記載
5. 候補者の年齢は、令和5（2023）年4月1日現在の満年齢を記載すること。
6. 「最終学歴」欄について、学校の名称が制度改正等で変わった場合は、現在名をかつこ書きで付記すること。  
例：栃木県立宇都宮農業高等学校（宇都宮白楊高等学校）のように記載
7. 「候補者の人格」欄については、候補者の人格信用状況等を簡潔に記載すること。
8. 「候補者勤務先名称」欄について、株式会社は（株）と記載すること。  
例：「〇〇〇（株）〇〇工場」のように記載
9. 「現在の勤務上の地位」欄については、例えば「〇〇〇（株）〇〇課〇〇職長」のように具体的に記載すること。なお、候補者の勤務上の地位が一般的な職名でない場合には、かつこ書きで「～相当」として一般的な職名（係長、職長、班長、係員等）で示すこと。
10. 「入社（勤務）年月」欄については、かつこ書きで令和5（2023）年4月現在までの通算勤務年数を記載すること。
11. 「事業内容」欄については、候補者の勤務する工場、事業所等の事業内容を具体的に、かつ簡単に記載すること。
12. 「社内表彰等及び本賞の受賞歴」欄については、本件業績に関わるものについて、現在までに知事あるいは直轄上司、その他から表彰された経歴があるとき、その主なものについて受賞年月日、表彰名称等を記載すること。
13. 「創意工夫の内容」欄については、（1）背景（作業等の全体のイメージを含む）・着眼点、（2）科学的・技術的な要素を含む考案点、改良点を具体的に、分かりやすく、かつ1ページに納まるように記載すること。
14. 「創意工夫の実績」欄については、当該創意工夫によって、その職場の能率の向上、製品の増大、コストの引き下げ、未利用資源の活用、資材の節約、災害防止等に役立った実績を極力数値化して記載すること。
15. その他、業績の説明に役立つ写真、図表等があれば概要説明書（様式任意）を添付することとし、概要説明書は、必ず上部に業績名を記載し、3ページ以内の範囲で作成すること。
16. A4 縦用紙（フォントサイズ10.5 ポイント以上）で作成することとし、記入欄や余白の大きさは変更しないこと。（手書き不可）
17. 創意工夫功労者賞候補者調査書（様式2）の作成に当たっては、令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰推薦要領の100頁及び101頁（[https://www.mext.go.jp/content/20220527-mxt\\_sinkou01-00007424\\_5.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220527-mxt_sinkou01-00007424_5.pdf)）を参考にすること。